

新教出版社 新刊案内 2025年1月24日発売

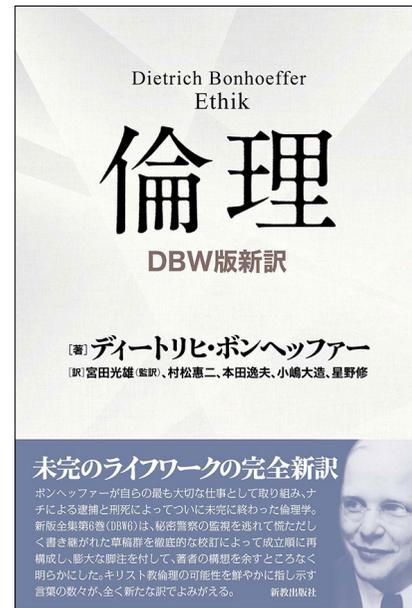
# 倫理 DBW版新訳

[著] デイトリヒ・ボンヘッファー

[訳] 宮田光雄 (監訳)、村松恵二、本田逸夫、小嶋大造、星野 修

四六判・上製・820頁・本体6300円 (税込定価6930円)

ISBN 978-4-400-40305-0 C1016



## ライフワークの完全新訳、待望の刊行

ボンヘッファーがライフワークとして取り組み、秘密警察による逮捕と刑死によってついに未完に終わった倫理学。

長らく森野善右衛門訳『現代キリスト教倫理』として読み継がれてきたが、ここに新版ボンヘッファー全集第6巻 (DBW6) に基づく全く新たな訳が完成。

ナチの監視下に慌ただしく書き継がれた草稿を徹底的な校訂によって成立年代順に再構成し、膨大な脚注を付したDBW版は、著者の構想を余すところなく明かにし、キリスト教倫理の可能性を鮮やかに指し示す。

宮田光雄＝東北大学名誉教授、村松恵二＝弘前大学名誉教授、本田逸夫＝九州工業大学名誉教授、小嶋大造＝東京大学教授、星野 修＝山形大学名誉教授

### 【目次より】

編集者まえがき

キリスト・現実・善——キリスト・教会・この世  
形成としての倫理学

遺産と退場

罪責・義認・新生

〈究極的なもの〉と〈究極以前のもの〉

〈自然的生〉

歴史と善 (第一草稿)

歴史と善 (第二草稿)

神の愛とこの世の崩壊

教会と〈この世〉 I

この世に向けた教会の言葉の可能性について

主題としての《倫理的事象》と《キリスト教的な事象》

具体的な戒めと神の委任

編集者あとがき